

台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）への
加入に向けた支援を求める意見書

日本と台湾は深い信頼と友情で結ばれており、これまで我が国が大規模な自然災害に見舞われるたびに、多くの支援が届けられるなど、その強い絆に日本国民が感銘を受けてきた。

本市議会においても、静岡市議会日台友好議員連盟を設立し、交流活動を行うなど、台湾との結びつきは強い。

このような関係にある台湾は、2021年にCPTPPへの加入を申請している。CPTPPは、日本政府のリーダーシップにより2018年に発効し、高いレベルの自由化と公正なルールの構築を目指す「21世紀型の経済連携協定」であり、台湾が加入することは、連携地域の経済貿易にさらなる活力を与え、域内経済に好循環を生み出すとともに、我が国及び本市にとっても経済のみならず、様々な分野における協力関係の強化が期待される。

よって国においては、台湾のCPTPPへの加入に向けて、積極的に支援するよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月13日

静岡県静岡市議会

衆議院議長 宛て

参議院議長 宛て

内閣総理大臣 宛て

総務大臣 宛て

外務大臣 宛て

財務大臣 宛て

農林水産大臣 宛て

経済産業大臣 宛て

内閣官房長官 宛て

経済再生担当大臣 宛て